

令和 5 年度 四国高等学校・中学校ゴルフ選手権大会 団体の部

兼 2023 年度 全国高等学校・中学校ゴルフ選手権大会

＜競技の条件＞

1. ゴルフ規則

2019 年度日本ゴルフ協会ゴルフ規則と本大会特別規則による。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄についてこの委員会の裁定は最終である。

3. クラブと球

- (a) 適合ドライバヘッドリスト・ローカルルールひな型 G-1 を適用する。

このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格

- (b) 適合球リスト：ローカルルールひな型 G-3 を適用する。

このローカルルールの違反の罰：失格

注：適合クラブと球の更新されたリストは www.randa.org で閲覧できる。

4. 競技方法

1 日 18 ホール、2 日間合計 36 ホールズ・ストロークプレーで 1 校 4 名（補欠 1 名）による団体戦（3 名でも

出場可）。

- 1 各校 4 名のうち各日上位 3 名の 2 日間合計の総ストローク数の少ない学校を上位とする。
- 2 すべての順位決定において、①の総ストローク数が同数の場合は、2 日間の 4 人の合計ストローク数の少ない学校を上位とする。
- 3 さらに同数の場合は、優勝決定の場合のみ、競技委員会の指定するホールで代表 1 名によるホールバイホールによるプレーオフを行う。但し、プレーオフが行えないと競技委員会が判断した場合には、最終日の 4 人の総ストローク数が少ない学校を上位とする。
- 4 さらに同数の場合は最終日の 4 人の総ストローク数による（1 番ホールスタート）10 番から 18 番、（10 番ホールスタート）1 番から 9 番でのマッチングスコアカード方式で順位を決定する。

5. 練習

- (a) ストロークプレーでは、規則 5.2b は次のように修正される。

プレーヤーはラウンド前やラウンドとラウンドの間に競技が行われるコース上で練習してはならない。

- (b) プレーヤーは 2 つのホールのプレーの間、次のことをしてはならない。

- ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。
- ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面を擦ったり、球を転がすことによってパッティンググリーンをテストする。

6. プレー中断と再開方法（規則）5.7b

次の信号がプレーの中断と再開に使われる。

差し迫った危険のための即時中断：1 回の長いサイレン

危険な状況ではない中断：3 回の連続する短いサイ

レンプレーの再開：2 回の連続する短いサイレン

注：危険な状況のためにプレーを即時中断する場合

全ての練習区域は委員会がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格となることがある。

7. 移動

手引きカート使用禁止。

ラウンド中プレーヤーは動力付きの移動機器に乗車してはならない。

(ただし、5 番ホールから 6 番ホールの移動は除く)

8. キャディ

正規のラウンド中、競技者のキャディ使用は禁止する。

9. 競技の短縮

荒天に因り競技が出来なくなった時の処置は競技委員会が定める。

10. 使用ティー

本競技のティーマークについては男子：黒マーク、女子：緑マークとする。

11. プレーのペース

プレーのペース方針と違反の罰

- ・バッドタイム 1 回目：レフリーからの口頭での警告
- ・バッドタイム 2 回目：1 打罰
- ・バッドタイム 3 回目：さらに 2 打罰
- ・バッドタイム 4 回目：失格

12. アウトオブバウンズ

アウトオブバウンズの境界は白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。

13. 異常なコース状態（動かせない障害物を含む）規則 16

(a) 修理地

1. 青杭を立て白線で囲まれた区域
2. 委員会が異常な損傷とみなした地面

(b) 動かせない障害物

1. 白線の区域と動かせない障害物が告げられている場合、または動かせない障害物と他の動かせない障害物が接している場合は、ひとつの異常なコース状態として扱われる。
2. 人工の表面を持つ道路に隣接している排水溝はその道路の一部として扱う。

(注意事項)

(1) 開催当日及び練習日は、以下の事項を守ること。

- ① 競技中の服装は、日本高等学校ゴルフ連盟のユニフォーム規定に従うこと。
- ② JGA 発行のルールブック（2019 年度版以降）、本競技ローカルルール、目土袋、スコップ、グリーンフォークを必ず携帯すること。
- ③ 競技日 3 日間は毎日ロッカーが変わります。清算は各日で行うこと。
(各学校の清算方法は公式練習日に受付にて報告すること)

(2) ラウンドについて

選手は担ぎプレー。

指定練習ラウンド（7/7）はスルー、競技日（7/8、7/9）はハーフ休憩約 60 分あ

り。

スタート前の練習は 1 カゴ 35 球（550 円）、練習場までは顧問が送迎すること。

ホールアウト後の練習グリーン使用は各日本部に確認すること。

競技 2 日間、ハーフ終了後にマスター室前でハーフチェック（ルール、スコア）を

行います。また、マスター室にてスタート時間の確認を必ず行ってください。

(3) クラブハウス内について

浴場への出入不可（雨天時は利用可能）。

競技日以外（最終ターン後のスタート）に練習ラウンドをする際に、午後からのラウンド

を行った場合の入浴不可。

朝食はレストランの利用ができません。昼食は 7/7 クローズ、7/8 と 7/9 は注文可能。

ロッカールームは毎日変更となります。ロッカールームでの飲食禁止。各自持ち込んだ食べ物はレストラン奥側にて飲食可能。

(4) その他

参加選手のプレー代は毎日精算すること。

費用精算について、フロントへ申し出てください（個人払い、全員一括払いなど）。

競技日はキャディーバック置き場をスタート室横に設けます。

クラーボックスは各チーム乗用車にて保管すること。